

2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2018年8月21日(火)18:00～19:40

場 所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議 長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鶴若 麻理、小林 京子、高橋 奈津子、松井 陽、青木 美紀子、川上 千春、中山 昌明、
中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員：小野 若菜子、縄 秀志、大久保 暢子、
(出席者 12人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 丸山 菜穂子 (助産学 博士)

「周産期領域の看護者を対象としたDV被害者支援に関するE-learningの 開発と評価:ランダム化比較試験」
研究責任者(丸山氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

② 北園 真希 (助産学 博士)

「胎児に異常がみつかった女性を支えるバース&ペアレンティング・プランニング・プログラムの開発と評価」
研究責任者(北園氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

③ 小林 京子 (小児看護学 教授)

「Truth-tellingを受けた小児がん患児の病気の受容のプロセス」
研究責任者(小林氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

④ 大坪 賢治 (ニューロサイエンス看護学 修士)

「重度意識障害患者の patient centered care に関する事例研究
—Support Team Assessment Schedule を用いての検討—」
研究責任者(大坪氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について

① 審査番号 16-A043:奥 裕美 (看護教育学 准教授)

「リフレクションシートの集積による看護教育実践知の統合」

② 審査番号 16-A076:中田 かおり (助産学 博士)

「仕事復帰後の母乳育児継続を目的とした出産後の女性に対するプログラムの評価」

- ③ 審査番号 16-A087:古賀 郁衣 (精神看護学 修士)
「手術が必要な身体疾患を有する統合失調症患者の意思表示に対する看護師の対応」
- ④ 審査番号 17-A038:岡部 紗希子 (助産学 修士)
「中堅助産師のワーク・ライフ・バランスの実現と職業キャリア成熟の関連性」
- ⑤ 審査番号 17-A063:宍戸 恵理 (助産学 博士)
「妊婦の妊娠後期から産褥早期の唾液オキシトシン値の変化とボンディング障害:予備研究」
- ⑥ 審査番号 17-A084:米倉 佑貴 (看護情報学 助教)
「慢性疾患セルフマネジメントプログラムの効果検証」
- ⑦ 審査番号 17-A088:岡 美雪 (助産学 博士)
「タンザニアにおける妊娠期のグループプログラム介入の効果:看護師と妊婦、および妊婦同士のつながりの向上」

事務局より、実施状況について説明が行われた。
委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
18-A012	救命センター看護師の意識のある患者への自立促進の視点をもつケアの判断と実際	急性期看護学	修士	木戸 蓉子
18-A019	大学生の海外経験による自己の認識変容を促進する効果的なメタ認知支援方法の検討	放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻	修士	中島 薫
18-A015	がん専門病院の集中治療領域においてがんの治療に伴う緊急症により終末期を迎えた患者・家族との関わりで生じる看護師の困難感	急性期看護学	修士	上石 響
18-A020	看護実践能力の向上に資する看護教員の養成と継続教育に関する研究—全国調査—	看護教育学	准教授	奥 裕美
18-A022	周産期看護学実習と小児看護学実習および子どもと家族の看護領域実習に対する実習後の学生の認識	小児看護学	助教授	下田 佳奈
18-A023	疾患・治療に関する患者からの質問およびそれに対する精神科看護師の対応の実態	精神看護学	博士	根本 友見
18-A024	集中治療領域における新人看護師の臨床判断の現状と教育支援 —対話による省察支援過程の分析から—	看護教育学	修士	森田 敦子
18-A025	集中治療室に配属された新卒看護師への Concept Based Learning を用いた教育的支援の記述	看護教育学	修士	山本 佳嵩
18-A026	介護予防サポーターの自殺や高齢者の自殺予防に関する認識	公衆衛生看護学	修士	持田 恵理
18-A028	反復中絶を経験した女性に対する中絶ケアの現状	助産学	修士	関野 菜津美
18-A029	女性生活困窮者に対して福祉事務所の保健師が行う支援	公衆衛生看護学	修士	藤本 尚子

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
終了報告	16-A089	精神疾患をもつ人々が社会の一員として生活することとその実現に関連する要因:精神疾患をもつ人々の捉える社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)	公衆衛生看護学	博士	遠藤 直子
終了報告	17-A042	定住型中高年在日外国人女性むけヘルスプロモーションプログラムの評価	国際看護学	准教授	長松 康子
終了報告	17-A057	看護実践能力の向上に寄与する看護教員・実習指導者の養成と継続教育に関する研究 1(インタビュー調査)	看護教育学	准教授	奥 裕美
終了報告	17-A065	産業看護職によるメンタルヘルス対策における職場環境改善の活動を実施するうえで影響する要因に関する認識を質的に記述し職場環境改善活動を推進するための要因を見出す	公衆衛生看護学	修士	岩井 杏純

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、7月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ③ 委員長より、倫理審査システムでの質疑応答時の査読担当委員名の掲示について連絡があった。

6. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年9月18日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。